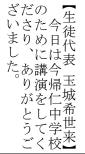


## イバー犯罪防止教

#### - の世界でも相手を思っ<sup>-</sup>



と心Nどやと界交こ すの表 まうす必 °こか講し こるずまが構Sイっはでえっ講 、きに利夕はツつが事で もどり ば講を 一師聴 強がの困まつ用しいトてら件は 調大大つしいすネけのい。 をへい 調ススラート・ディーのでは、 さ切人たってるッな世け現の実 紹のた れだにと 学とトい界な実説際 介一生 ぶきやしでいの明に てと相き しお徒 ま礼代 いい談は このSなもこ世も起



講師の比嘉一茂さん

嘉生 がサ校 活講行イ生7 茂安師わバ徒月 氏全はれ | を11 で少、ま犯対日 す年本し罪象 。 「保部<sup>た</sup>。防と水 長警 止し の察 教てに 比署 室







学校便り 第12号 発行 喜友名悟

ね明自

くましい生活のある生活

徒 徒

くたくま

があるく思いるく思いるく思いる 教育 1

心いやり深く考標



とだ今 まえマこ簡ど りう人か しり深りてだ うさ帰今しるホと単れ今まケにらまたすく、はけス がり仁日た必ななにも日せー迷問た。る傷文犯とマ り仁日た必ななにも日せー迷周た 、中は、 要どの起私聴んス惑り こつ字罪 い本学 とけだに使は がのでこたい もをの不 、っちた あ使 少かた適 もてけつい便 なけく切 るい改てのお わしでな方利 た。あ来い と方めし身話 くてさな かま相がにな りて中 思をてま近は はしん行 りっ手っよも がく あまの動 またをたっの い考スうで



自転車安全教室のようす

う安かにへ 学交どまの起活演り 宮交 ま転校 全り乗の通ぶ通こた説こ用題方講里通講し車生6にいる参学こルを、明っしでに話裕課師た安徒月気ーと加やと一通自もたな、つは一企は。全を28をルきな休がいる転あ事がスい「氏画、教対日のなどには「ではない」なり をかるない。からない。 つをにど日でにか車り故らクて自ず。 け守は、のきまいな道とで実ーと車 まっ、自部したが変更になる。 保管 室象。 をと木 開し つ 目 5 い 4 担 し つ 夫 I c 平 て し 転 活 し て ど 路 た い 際 ン い の 、 っ 車 動 。 も 、 の 。 て に を う 乗 長察 催てに の署 し自全

### 転 安 を全 開教

# 休 み

2

しす趣す行読学努一学個 よこ味 う書習力学習性 ٠ ع 絶やに不期意の を特 好自努足を欲伸 の由めの反を長 考技 えを 機研る教省高と 実伸 科しめ 会究 でを 行ば  $\mathcal{O}$ 

1 に歯身よじご早そさ遊 健 努な体うめ飯寝うわび 康 めどを あを やや心を よ病休 る実早 かス身保 なポ**を持** う気め 生践起 汗〕鍛し  $\mathcal{O}$ 活しき をツえ 治む を しけ朝 流でる 療し

と学ごでス画と待も「まらと学を校す夏すでを夏とでしありい、期7確でた休。進、休思胸たれまよ7終月 確でた休 め自みい躍いもすい月業20 め合みにませい。よ21式 認はめみ る分はまらし。よ21 絶な、すせとた長夏日 し次にを 絶な °て希いい休~ い4今意 好り自 まつ帰義 のの分 すの仁に 機ぺの 。こ中過 会一計 こ期れに始かる

いご用にれと 認校徒動みサし まましう楽 い参のつて30まく日日練のマお生すす合、し事保た加中さい日本だの声羽図しり往。よいマン共 い参のつて30まく日口麻シ・・・ た加中きい日ただの直習図 | り徒 、コロの計書ス」に よい家い故護 には、「夏休な 自計画、夏休な 自計画、夏休な 日間では、「夏休な の日では、「夏休な の日では、「夏休な の日では、「夏休な では、「夏休な しをとまるへ うを庭夏の者 7 ます。 (月) に は存じま よろしま も、 「三者! 日 おしで休なの 願てもみい皆 いい親に充様 します;;; 面<sub>丁</sub>定金) -いた子な実金 ご校み部夏よみ ただでるし おがる影願、多 しき話よた 確出生活休~の

2 1 十故水い入危事 分に難にあ事 り険故 は場防 注わ故 絶所止 意な 対へに しい交 にの努 し立め よよ通 うう事 なちる

3 よもラ地世祖極家の家 う積ン域話父的庭**役族** 極テ行を母にの**割の** 的ィ事し、し手**を**一 にアやよ弟よ伝果員 参活地う・ういたと をす 妹 加動域 しにボ  $\mathcal{O}$ 積 て